

山本学区社会福祉協議会

CONTENTS

- ①新年のあいさつ
- ②地域とともに育つ生徒たち/全国社会科研究大会に向けて
- ③8・20やまもといのちをつなぐ集い
- ④第1回やまもとふれあい祭り&敬老フェスティバル
- ⑤学校に泊まる防災学習体験/盆踊り大会/
町内美化ボランティア活動
- ⑥郷土を胸に生きていく/ご協力のお礼/安佐南区
イベント応援キャラクターあみゴンについて/寄付

新年の挨拶



山本学区
社会福祉協議会
会長 小堀 昭男

一、はじめに

皆様、あけましておめでとうございます。

会長になって5年目になります。26年度は、『やまもと福祉のまちづくりプラン』に基づいた取り組みを始めて4年目になります。66の項目があり、すべての取り組みを継続してきています。

今年度、「広島型LMO」は、地方自治法改正により新設された「指定地域共同活動団体」制度を活用し、国より「指定地域共同活動団体」として指定を受けました。これに伴い、やまもとLMOまちづくり委員会も、「指定」を受けることとなります。補助金については、支出は広島市が行いますが、制度としての継続性が確立されることとなります。

二、事務局体制について

これまで、六つの委員会活動を行ってきましたが、25年度より、三つの

部会制を設け、活動しています。スタッフ不足で取り組み内容を整理しました。

事務局会議（会長、副会長、会計兼事務局長、総務）、部長会議（事務局会議メンバーと地域福祉推進委員、各部長）を開催し、事務局員どうしの意思疎通を図り、事務局体制を整えています。

部会活動は次の通りです。

総務部会

・ 毎月のコミュニティカレンダーの発行

・ 地区社協拠点活性化支援事業（相談受付）

・ やまもとふれあい祭り

・ 敬老フェスティバル

・ 8・20やまもといのちをつなぐ集い

・ 「要望書」作成委員会の活動

・ TOMOS FESの後援

・ 赤い羽根共同募金活動

・ 広島経済大学興動館プロジェクトとの連携

・ 田子ノ浦部屋との交流

福祉活動部会

・ いきいきサロン（毎月）

・ 第2土曜日 第二東亜ハイツ

・ 第4土曜日 山本集会所

・ サロン百歳体操（毎週水曜日）

・ 山本集会所

・ 丸子集会所・各個人宅・春日野

・ 園・サンキウエルビィはりモイ

トで実施しています

・ ボランティアバンク運営委員会

・ 除草作業等

・ 車いすの貸し出し

・ 「安心ネット山本」の活動

・ ふれあいカフェやまもと

広報部会

・ 広報紙「社協やまもと」を年2回発行

・ ホームページの更新

三、おわりに

日々、山本学区の福祉活動を行っている組織・団体は、地域コミュニティ（地域をよりよくするために住民どうしが協力し合う集団）を創ろうとしています。

25年度に取り組みをはじめた「8・20やまもといのちをつなぐ集い」「やまもとふれあい祭り」は、これから継続して取り組む行事で、内容をより充実させていきたいと思っています。

今現在、山本学区社協の活動は、区社協等からの補助金もありますが、自治会費の一部を拠出していただくことで賄っています。自治会に加入しておられる方は退会せず、未加入の方は加入していただきたいと思っています。

山本学区における社会福祉のための活動を維持、発展させていくために、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

地域とともに 育つ生徒たち

広島市立祇園中学校

校長 森田 真伸



今年度より、祇園中学校長を拝命しました森田真伸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

近年、社会の変化は著しく、家庭や職場の形も多様化しています。便利になった一方で、人と人とのつながりが弱くなるといわれる時代に突入していると感じることがあります。本校では「地域に根差し、地域を愛する心を育み、知・徳・体のバランスの取れた実践を活かし、社会に貢献できる生徒の育成をめざす」を経営理念として掲げ、学校経営を進めております。地域に根差し、地域を愛する心を育むためには、地域との交流活動がとても重要となります。本校の生徒たちが、「社会の一員としての自分」を実感できる大切な学びの場です。山本にお住まいの地域の皆様の温かさに触れ、役割を果たし、感謝されることは、自己肯定感の土台にもなります。山本地区の皆様との関わりが、子どもたちの心を支え、

未来を生きる力を育んでくださっていると思います。

また、学校には一人ひとりの子どもたちの成長を支える役割がありますが、その力には限界があります。孤立の防止、見守り、福祉的支援、子育て相談など、地域が持つ機能と学校が持つ機能が合わさることで、初めて子どもたちの安全と安心が守られます。社会福祉協議会が中心となり、地域住民・各団体・行政・学校がつながる山本地区の仕組みは、まさに「地域共生社会」の実践であると感じています。



TOMOS FES 本校吹奏楽部出演

山本地区では、やまもとLMOまちづくり委員会が中心となって様々な取り組みを進めております。「地域の関係者が、楽しさややりがいを感じながら、地域主体のまちづくりを推進していくことにより、地域の実

情に応じた諸課題を解決することができる持続可能な地域コミュニティを実現する」を目的に積極的な活動を展開しております。一年間で様々な地域の絆を深めるための活動が用意され、そこに本校生徒も様々な形で参加しております。生徒たちが実際に地域に出て、地域の課題や魅力に触れる機会を広げていきます。地域の方とのふれあいは、教科書に載っていない、かけがえのない学びです。子どもたちには、この山本で育った誇りを胸に、将来は地域や社会に貢献できる大人へと成長してほしいと願っています。



12月6日 町内美化ボランティア活動

これから、学校は地域の皆様と共に歩み、子どもたちの成長を支える「地域の学校」としての役割を果たしてまいります。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

全国社会科研究 大会に向けて

広島市立山本小学校

校長 河野 隆

山本小学校の児童が平日頃から地域の皆様に見守られ、支えられて健全に成長していることに深く感謝申し上げます。

さて、本校では、昨年度より研究教科を「社会科」として、全校で研究を推進しております。山本小学校は、千田小学校とともに、令和9年度に広島で開催される全国小学校社会科研究協議会研究大会の会場校に決定しています。

本年度は、社会科の研究授業を4回計画しており、12月に3回目が終わったところです。3年生は、「農家の仕事」、4年生は、「自然災害からくらしを守る」、5年生は、「米作りのさかんな地域」、6年生は、「戦国の世から天下統一へ」の単元の授業を教職員全員で参観し、協議会を開き、意見を交わしながら研究を積み重ねています。

これからも、より深い学びになるように、総合的な学習と関連づけたり、地域教材を積極的に取り入れたりしながら、地域の方々と一緒に授業を作り上げていきたいと考えております。

今後ともご支援、ご協力よろしく願っています。

8・20やまもといのちをつなぐ集い

山本学区社会福祉協議会

やまもとLMOまちづくり委員会

会長 小堀 昭男

24年6月20日、中国新聞に「兄弟の犠牲胸に防災教育つなぐ」との記事が掲載されました。14年8月20日の豪雨災害で、2人の幼い子どもを失った平野さん一家が住む寺山自治会の子ども会が取り組んだ防災学習会の紹介記事でした。この記事を見て、平野さんと寺山子ども会会長の四方さんと山本集会所で会い、「やまもと福祉のまちづくりプラン」や「やまもとLMOまちづくり委員会」の活動などについて話をしました。

8月21日、中国新聞に「10年 家族の犠牲伝えた夏」という記事が載りました。平野さんと広島土砂災害後に誕生した娘さんの想いを伝える内容でした。再び、平野さんとお会いし、被災当時の体験を聴かせてもらいました。

14年8月以降、広島経済大学興動館武田山まちづくりプロジェクトの学生たちにより、熊岡神社での追悼行事が行われ、以後毎年継続して行われました。その間、山本学区としては何もしていませんでした。この際、

山本学区として、災害があったことを忘れないことと、防災の意識を高めていくために、「集会」を開催したいという思いを伝えました。平野さんから「過去の災害の事も含め、亡くなった方を追悼し、防災の取り組みをすることで住民の防災意識が高まることはとても良いこと」との思いを聴くことができました。

集会名を「8・20 やまもといのちをつなぐ集い」とし、集会のための冊子を作成し、読んでもらったうえで、趣旨や内容を理解してもらい、参加してもらおうと考えました。冊子の表題は、祇園中学校3年生の書道教室に通う生徒に、集会所の横断幕の標題は、祇園北高校の書道部の生徒に書いてもらいました。

「14年8月20日の豪雨による土砂災害当時の様々な体験を書いてもらう取り組み」、「21年8月14日(土)の豪雨災害の避難所、当該自治会の活動記録」、「1926年9月の山本大水害の記録」の三部構成で、1年を要して、400冊作成しました。社協役員、やまもとLMO委員、山本地区や関係団体等に配付しました。

「8・20 やまもといのちをつなぐ集い」は、8月19日・20日に開催しました。

19日は、防災サロンとして、
・ばうさいNURIE



紙芝居上演



式典

「紙食器」・「雨ガッパ」・「新聞紙スリッパ」をつくる
・段ボールベッド体験
・災害備蓄食品の試食
・避難時に必要な用品を展示
・山本地区の模型(青木雄司防災士作製)での水を流す実験
・紙芝居「なっちゃん」のランドセルの上演
20日も、午後1時まで、防災サロンを継続しました。子育てサークル代表の坂本さんを中心に、平野さん、四方さん、MaMaぼっけの皆さん、広島経済大学興動館プロジェクトメンバーの皆さん、丸山周治さんをはじめ5Kチームの皆さんなど心強い助っ人が集合しました。

2階ホールでは、両日とも、1926年の大水害、14年の土砂災害、21年の豪雨災害、現在の山本地区の砂防ダム建設状況等を順に展示しました。

20日の15時30分から、2階ホールで式典を実施しました。

防災サロンには、2日間子ども、保護者、その他を含め120人が、式典には、93人の参加がありました。横断幕の標題をお願いした生徒とお母さんが、供花を手を列席くださいました。本当にありがたいと思っ

たし、感動した出来事でした。初めての取り組みでしたが、多くの方々に参加して頂き、充実した「集い」にすることができました。協力

していただいた皆さんに心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。この集会は、毎年、実施します。なお、「冊子」は、県立図書館に2冊、市立図書館に4冊、蔵書として納めてもらっています。

2か月後の敬老フェスティバル

山本学区社会福祉協議会
やまもとLMOまちづくり委員会

会長 小堀 昭男

毎年「敬老フェスティバル」は9月中旬に実施していましたが、近年の猛暑で開催が危ぶまれていました。一方で11月に本年度が初となる「やまもとふれあい祭り」の計画が進んでいましたので、日程を調整して同日開催することになりました。

11月22日(土) 10時から、山本小学校体育館で第一部「敬老フェスティバル」が行われ、前回より47人多い



神楽「すずはき」

266人の参加がありました。

寺山自治会の辻浩美さんが司会進行を務め、山本小学校児童代表2名、祇園中学校生徒代表2名からお祝いの言葉がありました。山本小学校4年生は、絵手紙を贈りました。

ステージの部では、西山本神楽保存会による神楽「すずはき」、山本学区連合睦会の同好会「シニアコーラス山本・山本男声合唱団」のコーラス、山本幼稚園園児30人の元気な歌と踊りと可愛いお祝いの言葉。最後は山本小学校5年生25人による「山小ソラン」。メリハリの利いた勇壮な踊りに元気を一杯もらいました。第一部の締めは坂本牧子さんの伴奏で『ふるさと』を合唱しました。

第二回やまもとふれあい祭り

やまもとふれあい祭り実行委員長

古川 直輝

体育館のステージは、横断幕も入れ替わり、午後から第二部の「やまもとふれあい祭り」に移りました。司会進行は山本協推進委員の沈美江さんが務めました。祇園中学校吹奏楽部、DJジョン&ダンススクールブレッド、東ベンチャーズ、お局様

学校に泊まる防災学習体験

山本小学校PTAおやじの会

小山 純平

25年11月1日から2日にかけて、山本小学校にて「山本防災学習(学校に泊まる)」を開催しました。本イベントは、防災を知識だけでなく体験として学んでもらうことを目的に実施し、小学生37人、付き添いの大人を含め50人が参加しました。

初日は、広島市消防局のご協力により、体育館和室に煙を焚いて行う火災避難訓練や、水消火器を使った消火体験を実施しました。その後、ダンボールを使った寝床作りに挑戦し、子どもたちは工夫を凝らしたダンボールハウスを完成させました。



段ボールで寝床作り
うまくできるかな?

体育館での宿泊は、避難所生活を疑似体験する貴重な機会となりました。夕食はアルファ化米と豚汁の炊き出しを行い、夜には広島天

体協会による星座観察も楽しめました。

2日目は、



ジオラマで危険場所を把握
安全な場所はどこ?

山本自主防災連合会による水害学習を行い、地域の地図や地形模型を使って危険な場所や避難先について学びました。

アンケートでは「地域の危険な場所が分かった」「災害の大変さを実感した」「また参加したい」といった声が多く寄せられ、これらの声を今後の活動にも生かしていきたいと考えています。

本イベントは、地域の皆さまのご協力により実現しました。PTAおやじの会はコロナ禍を経て昨年から活動を再開し、「できる時に、できる人がやる」をモットーにしています。

月1回の地域清掃と会合で企画を練り、子どもたちから寄せられる「楽しいイベントを続けてほしい」という声にこたえていきます。子どもたちの笑顔を広げていくためには仲間の力が欠かせません。興味のある方は、ぜひ気軽に山本小学校PTAまでご連絡ください。

盆踊り大会

山本地区盆踊り大会実行委員会

実行委員長 谷口 正行

8月2日(土)の夕刻、山本小学校校庭で、山本地区盆踊り大会を開催しました。本年度も、やまもとLMOまちづくり委員会から支援を受け、やぐらの組み立て・撤去を外注化しました。踊りの練習も一昨年の倍以上行うことが出来ました。参加者には、1000枚の三角くじを準備し、全て配付しました。

実行委員の皆さんや、売店のスタッフの皆さんを加えると1300人を超える大会となり、地域挙げての大イベントとなりました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。



まあるくなって踊ります

皆さん楽しめました。

「ふれあい祭り」は、令和6年4月に「やまもとLMOまちづくり委員会」を発足するにあたり、「地域の活性化には、地域の方々が一堂に集まり交流することが一番」との考えから動き始めました。



ふれあい祭り グラウンド会場のにぎわい

行事の開催には運営資金が必要で、広島市の令和7年度「区の魅力と活動向上推進事業」の補助金と、事業者の方々から協賛金をいただきました。「とにかくやってみよう」を合言葉にスタートしました。

第一回目で、今までこれだけ大きな行事は経験が無く、様々な不備もありましたが、皆さんの協力のおかげでやりとげることができました。

今回の反省を生かし、皆様とともに長く続く祭りを作り上げていきます。

今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

町内美化ボランティア活動

山本学区青少年健全育成連絡協議会

会長 谷口 正行

12月6日(土) 13時30分から、山本小学校校庭で、町内美化活動の開会式を行い、地区内を六つの収集コースに分かれ美化活動を実施しました。



小学校グラウンドで出発式

祇園中学校卓球部の皆さん、山本学区内のスポーツ少年団のクラブの皆さん、学区内の各種団体の皆さんの協力により、約200人の参加で無事終了することが出来ました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。

郷土を胸に 生きていく

山本学区子ども会育成会

会長 渡辺 菜穂

地域の皆様には、平素より子ども会の活動にご理解と、ご協力をいただき感謝申し上げます。山本学区子ども会育成会会長の渡辺菜穂と申します。

山本学区に住む子どもたちが、大人になって故郷を思い出してくれるような活動をして行きたいなと思っております。よろしくお願いいたします。

令和7年11月30日には前年度同様、無事、ドッチビー大会を開催することができました。子ども、大人総勢60人以上の参加で、楽しく過ごせたことをうれしく思います。そして卒



ドッチビー大会



クリスマス会

業生も、コーチとして参加してくれました。お手伝いしてくださった保護者の皆様ありがとうございました！令和7年12月21日には、クリスマス会も開催しました。プレゼント交換やビンゴなど、楽しい時間を過ごせました。

今年度もたくさん子どもたちの心に残る活動をしていきたいです。

2月には恒例の、節分鬼ごっこ会を企画しています。

まだ子ども会の行事に参加したことがない子は、ぜひ一度遊びに来てみてね。

そして私たち子ども会役員の望みは、「山本小学校で子どもたちと一緒にお化け屋敷をしたい！」です。

校長先生！お願いします！お化け屋敷をやらせてください！笑

ご協力ありがとうございました

〈能登半島地震災害義援金〉

10667円

〈東北地方大雨災害義援金〉

7373円

令和7年12月で締め切り、区社協を通して被災地に送っています。

〈赤い羽根共同募金〉

132333円

令和7年10月1日フレスタ東山本店の前で募金活動をしました。

〈町内美化ボランティア活動〉

5頁下段に掲載

〈献血〉

令和7年12月6日(土)、山本公衛協、山本社協、広島ライオンズクラブの共催による「献血助け合い運動」が山本小学校グラウンドで実施されました。76人の参加をいただきました。

〈年末警戒統一パトロール〉

令和7年12月14日(日)、防犯組合主催の年末警戒統一パトロールを実施し、4コースに分かれて巡回しました。

寄付

上本 芳江様

ご厚志に対し、心よりお礼申し上げます。福祉活動のため有意義に活用させていただきます。

安佐南区イベント

応援キャラクター

あみゴンについて

安佐南区役所市民部 地域起こし推進課

安佐南区役所では、幅広い世代に対し、区や「ひろしまLMO」をはじめとした地域団体が開催するイベントへの関心を高めて効果的な広報を展開するため、安佐南区イベント応援キャラクターを制作しました。

あみゴンの認知度を高め、愛着を持ってもらいイベントへの関心・集客を高めめます。

